

防犯カメラ：桐生の広沢小に設置 動くと自動的に画像撮影 / 群馬

群馬大工学部などが開発

桐生市立広沢小（伊藤和夫校長、児童数584人）で15日、群馬大工学部などが開発した防犯カメラネットワーク「e-自警」が設置された。地元の桐生西ライオンズクラブ（赤石使外雄会長）が単年度事業として「今最も必要な物」と位置づけ、寄贈した。玄関と非常階段付近にカメラが設置され、職員室内に監視用パソコンが置かれた。

同システムは藤井雄作・群馬大助教授らがソフトを開発し、無料公開している。カメラの前で何かが動いた時だけ画像を自動的に撮影、録画する。藤井助教授は「事件後の犯人逮捕などだけでなく、事件抑止に極めて役立つ」と話す。今回は寄贈を受けた形だが、桐生市教委は07年度末までにすべての小中学校に同システムを導入することになっている。

広沢小では赤石会長、伊藤校長、中嶋三代支・市教育長と八木寛治桐生署長らが授与式に出席した。システム開発に加わった八木署長によると、高崎市のJR高崎駅前で監視カメラを設置したところ、駅前駐車の自転車窃盗が3割も減った実績があるという。【塚本英夫】

毎日新聞 2005年12月16日

Copyright 2004-2005 THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.
MSN毎日インタラクティブに掲載の記事・写真・図表などの無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。

(C) 2005 Microsoft